



地域支援センター 「みみらんど・郡山」

平成26年度

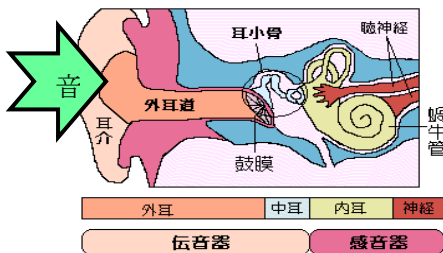
きこえとことばの基本研修会

第1回「聴覚障がいについて」

平成26年5月20日 講師：本校自立活動支援センター 飯塚和也教諭

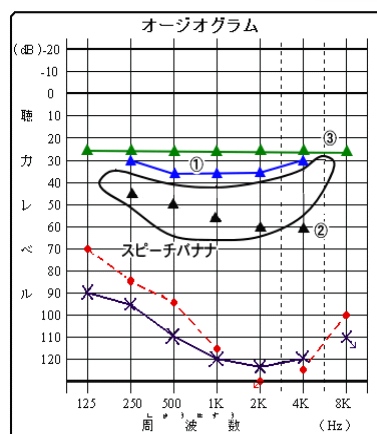
〈主な研修内容〉

- ◇耳の構造と聞こえの仕組み
- ◇聴覚障がいの聞こえ
- ◇聴覚障がいによる影響
- ◇聴覚障がい教育に携わる上で、最低限知っておくべきこと



【耳の構造と聞こえのしくみ】

- ☆外耳・中耳→音を伝える働き
- ☆内耳・神経→音を聞き分けて、情報として脳に伝える働き



【オーディオグラムの読み方】

- 右耳聴力 ×左耳聴力
- ▲補聴器の装用聴力
- ▲人工内耳の装用聴力

聴力と難聴の程度

程度	測定値	実際の聞こえ具合
正常	0dB～25dB	聞こえに問題はない
軽度	25dB～40dB	小声だとやや聞き取り難い
中度	40dB～70dB	普通の会話の聞き取りが困難
高度	70dB～90dB	耳元の大声なら聞ける
聾	90dB～	殆ど何も聞えない

〈聴覚障がい教育に携わる上で、最低限知っておくべきこと〉

補聴器や人工内耳は、すべての音が大きく聞こえ、聞きたい声だけが聞こえるわけではありません。そこで、次のような配慮が必要です。

- ☆視覚的な情報をいれる。
- ☆話をさせたり、文字で書かせたりして確認する。
- ☆言葉で説明させるような発問をする。
- ☆「どんな」「どうして」などの言葉で考えさせる。



参加者の声

- ☆補聴器をつけていれば、だいぶ聞こえると思っていました。これから、気をつけて指導していきたいと思います。
- ☆器用に周囲を見て行動できてしまうので、理解できているか確認しながら指導したいです。